

令和4年度 第2回

滋賀病院地域連絡協議会 議事録

(開放型病床運営委員会)

日時 令和5年2月2日 (木) 14:00 ~ 14:30

場所 滋賀病院 3階会議室

出席者 地域連絡協議会委員 (敬称略・順不同)

大津市医師会会長	重永 博
大津市医師会副会長	藤井 靖子
大津市医師会副会長	坂口 昇
大津市医師会副会長	大森 聖一
大津市医師会学術部長	西山 順博
大津市医師会広報部長	高岡 篤

滋賀病院長	来見 良誠
滋賀病院副院長	有村 哲朗
滋賀病院事務部長	中野 良文
滋賀病院看護部長	田崎 弘美
滋賀病院統括診療部長	八木 俊和
滋賀病院総務企画課長	佃 達也
滋賀病院医事課長	山盛 武彦
滋賀病院地域医療連携室長	山元 ふみ子
滋賀病院地域医療連携室副看護師長	渡辺 亜由子
滋賀病院総務企画課長補佐	寒川 美紀子

【 議 事 】

(議長)

副院長 有村 哲朗

(司会)

総務企画課 佃 達也

開放型病床運営委員会

<地域医療連携室副看護師長より報告>

1. 紹介患者状況
2. 開放型病床利用状況
3. 診察紹介状況
4. 検査紹介状況

ご意見・ご要望・ご質問

開放型病床利用について何かトラブルがあるか。

・コロナ禍で開業医が院外からお越しのため感染リスクがあり、また訪問の事前連絡が無く、当院職員の同行が困難となっていることが困っている。

滋賀病院はここ3年間で紹介数が増えていることは、素晴らしい。

COVID-19が5月から5類扱いとなるが、病院はどのように対応していくか。

・現在はまだ先読みが難しい。5類でも2類でも対応できるようにしていきたい。病棟改修をしている中で使い勝手がよくなるように考えている。結核病棟の再開も含め、地域の要望に応えられるようにしたい。

クラスターはあったか。

・あった。一時期入院受入ができず患者数は一旦落ち込んだが、戻ってきている。

整形外科の紹介が多いのはなぜか。

・大腿骨手術は従前とおりに行っているが、診療を特に肩・肘・上肢に絞り込んでおり、特化することで紹介が増えた。

今後在宅療養は大津南でニーズが増える見込みである。JCHOが主体となって、診療の橋渡をしてほしい。「あんしんさん」に登録している患者のリストをブラッシュアップし、亡くなった患者や、患者がどうなったのかを共有して欲しい。

・67,000人地域の玄関口がJCHOであると考えている。当院の医師数はここ数年で37名から50名近くに増えている。訪問看護診療のため、医師数をもう少し増やして貢献できるようにしていきたい。

ブラッシュアップした患者リストは提供できるようにしていく。

今後は、総合診療が重要視されてくるのではないか。

・総合診療にすべての医師が対応できるように、早朝カンファレンスを行い皆で症例を共有している。

発熱外来の件数が少ないのではないか。

・発熱外来は、受入条件を制限しているため、極端な増加はない。

乳腺外来の予約がなかなか取れない

・乳腺外来は医師一人体制であり、今はまだ増やすことができないため申し訳ない。